

北海道における建材コ
ンクリートブロックの草
分けであるよねざわ工業
(本社・恵庭市、米澤稔
社長)は、ブロック造建
築の外断熱を提唱し、長
年普及に尽力してきた。
1952年7月1日に梅
前アッシュユブロック企業
組合として設立され、今
年で満65周年を数える。

現在、恵庭市内に4工
場を展開。工場別に生産
品目をみると戸建建材ブ
ロック工場(型枠ブロッ
ク、化粧ブロック、簡易
土留めブロック、舗装ブ
ロック、レンガブロッ
ク、ガートニングブロッ
ク、乾式外壁ブロック)と
戸建舗石製品工場(イン
ターロックキングブロッ
ク、インターロックキング
ブロック加工製品、環境
製品、民地石、平板)、

戸建土木製品工場(スク
ラム式間知ブロック、矩
形型連節ブロック、法枠
ブロック、フェンス基礎
ブロック、植生ブロッ
ク、法留・小口止ブロッ
ク、束石ブロック、物干
し台ブロック、道路用製
品)、島松沢建材ブロッ
ク工場(建築
用空洞コンク
リートブロッ
ク、型枠ブロ
ック、花壇ブ
ロック)で、
インターロ
ッキングブロッ
クは道内一
のシェアを占める。

よねざわ工業

災害復旧に注力

16年度
台風被害

災害復旧向けに積みプロ
ックの出荷が好調だ」
(米澤社長)という。ま
た、ブロック塀の需要が
激減し、エクステリア製
品も他の競合資材に押さ
れる結果、島松沢工場の
出荷は伸び悩んでいた
が、今年は売り上げが好

調に推移している。
災害工事は今年度から
着手され、2〜3年続く
見通しだが、当初計画に
比べ遅れきみで、「工事
が発注されても不調や不
落札が多い。職人不足の
なか、安易に仕事を請け
ると大変だということな

のか、なかなか落札され
ない」そうだ。「当面は
災害復旧に注力し、安定
供給に万全を期す考え
だ。そのため製品をかな
だつた。
防寒住宅として推奨さ
り在庫している。その後
はリサイクル事業にも本
腰を入れ、コンクリート
事業とうまく融合させた

本柱だが、全国的にいず
れも不振な状況が続いて
いる。ブロック建築はか
つて北海道の住宅の象徴
だった。
住宅金融公庫(現住
宅金融支援機構)はプロ
ック住宅にしか融資しな
い。その後、
断熱すること
で室内環境が
よくなり、省
エネ効果が高
い。気密性を
高くすること
で計画喚気が
できる。室蘭工業大学の
鎌田紀彦名誉教授(NP
O法人新木造住宅技術研
究協議会代表理事)が提
唱する超省エネの高断熱
住宅「Q1・0(キュー
ワン)住宅」の効果は大
きくて、
技術開発を行いながら普
及が図られている。

文住宅と比べて価格は大
差ない。1979年に同
社初となる外断熱のプロ
ック建築が札幌市内に完
成した。その後も民間を
中心に施工実績を重ねて
は住宅の熱容量を増やす
必要があることがわかっ
ている。その面で北海道
ではブロック住宅が最適
だ」と述べている。

高断熱
住宅
ブロック建築が再び脚光

以前から構想してき
たことで、低炭素化社会
という時代のニーズに対
応し、フライアッシュや
スラグ焼却灰などをセメ
ントに置換させた商品開
発を自指している」
建築ブロックは間仕切
トが若干割高になるが、
大手ハウスメーカーの注
意を引いている。

断熱材を使用した木造住
宅にも融資されるように
なると、ブロック住宅は
次第に減少していった。
しかし、構造体が補強組
織のため、躯体のコス
トが若干割高になるが、
大きくできるのはブロッ
ク建築であり、再び脚光を

引いている。
断熱すること
で室内環境が
よくなり、省
エネ効果が高
い。気密性を
高くすること
で計画喚気が
できる。室蘭工業大学の
鎌田紀彦名誉教授(NP
O法人新木造住宅技術研
究協議会代表理事)が提
唱する超省エネの高断熱
住宅「Q1・0(キュー
ワン)住宅」の効果は大
きくて、
技術開発を行いながら普
及が図られている。

断熱すること
で室内環境が
よくなり、省
エネ効果が高
い。気密性を
高くすること
で計画喚気が
できる。室蘭工業大学の
鎌田紀彦名誉教授(NP
O法人新木造住宅技術研
究協議会代表理事)が提
唱する超省エネの高断熱
住宅「Q1・0(キュー
ワン)住宅」の効果は大
きくて、
技術開発を行いながら普
及が図られている。

断熱すること
で室内環境が
よくなり、省
エネ効果が高
い。気密性を
高くすること
で計画喚気が
できる。室蘭工業大学の
鎌田紀彦名誉教授(NP
O法人新木造住宅技術研
究協議会代表理事)が提
唱する超省エネの高断熱
住宅「Q1・0(キュー
ワン)住宅」の効果は大
きくて、
技術開発を行いながら普
及が図られている。